



やっつけたいのはコロナ鬼！



明日2月3日は節分です。節分といえば「鬼」。鬼といえば、もじゃもじゃ頭に角をはやし、虎の皮でできたパンツをはいて、金棒をもっている、そんなイメージでしょうか。このような鬼のイメージが定着したのは今から1000年以上も前の平安時代だそうです。アニメ「鬼滅の刃」に出てくる鬼が苦手としているのは、太陽の光と鬼殺隊が所持している日輪刀ですが、節分の日に出てくる鬼が苦手としているのは、豆（炒ったもの）と柊鰯（ひいらぎいわし）です。豆は「魔物を滅ぼす＝魔滅（まめつ）」から、柊鰯は柊に鰯の頭を刺したものです。鰯の強烈なおいと柊のトゲを鬼が苦手としているためです。

節分を機に、やっつけたい鬼（怠け鬼、怒りんぼ鬼など）はたくさんありますが、今はなんと言っても「コロナ鬼」。豆や柊鰯では退治することはできませんが、せめてそんな願いを込めて、「鬼は～外！福は～内！」と豆をまきたいですね。



委員会活動

委員会活動には5, 6年生が毎月1回のペースで取り組んでいます。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、全員が集まって活動することができない月もあり、計画通りにはなかなかできませんでしたが、そんな中でも子どもたちは様々な活動を工夫して行っています。

【運営委員】

学校行事（1年生を迎える会や6年生を送る会など）の企画・運営をしました。また、代表委員会の企画・運営をしました。

【栽培委員】

花いっぱいの学校にするために、毎日の水やりや草抜き、花がらつみに取り組みしました。



【美化委員】

クリーンタイムを計画し、チラシを作ったり放送したりして知らせました。また、クリーンタイムの時には、学年が集めたごみや石などを集めました。

【放送委員】

一日のスタートが気持ちよくできるように朝の校内放送をしました。給食時にはイントロクイズやシルエットクイズなどを企画して放送しました。



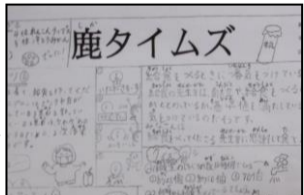
【生活委員】

あいさつ運動や廊下歩行の呼びかけをしました。全校で楽しむゲームや遊びの集いを今年はずることができず、残念でした。



【広報委員】

自分たちで内容を考え、取材をして「鹿タイムズ」（新聞）を作っています。でき上がった新聞は各クラスに配付しています。



【スポーツ委員】

体育倉庫の整頓やボールの空気入れをしました。運動会やなわとび集会で、自分の役割を果たすことが楽しみでしたが、中止になって残念でした。

【図書委員】

休み時間にはカウンターで本の返却のお世話をしました。また、低学年に本の紹介をしたり、読書週間にはいろいろなイベントを行ったりしました。

【給食委員】

寒い日も暑い日も毎日給食室に立ち、給食返却時のお世話をしました。給食週間も頑張りました。

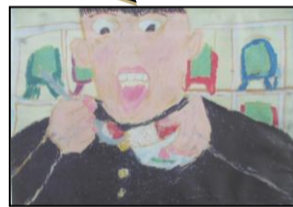


給食週間

～給食委員会が頑張りました～

1月24日（月）～28日（金）は鹿田小学校の給食週間でした。給食週間の取組として、給食に関する作品募集があり、各クラスから優秀な作品を1点ずつ選んで出品しました。

1年 須藤舜之助さん



2年 岡本真奈さん



3年 西村栄恵さん



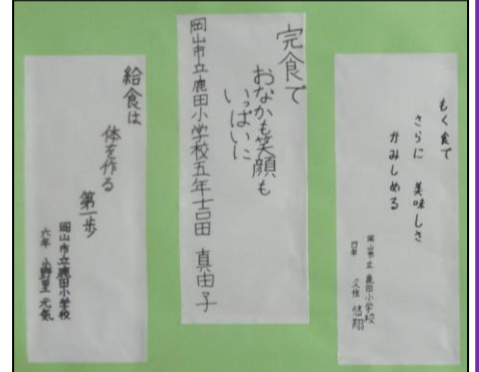
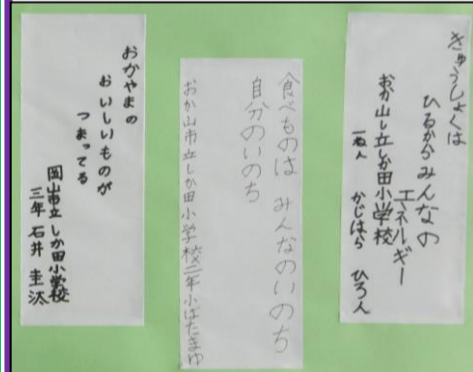
4年 能勢優花さん



5年 須田愛子さん



6年 田中詩恩さん



3年 石井圭汰さん

2年 小幡真由さん

1年 梶原碩人さん

6年 小野里元気さん

5年 吉田真由子さん

4年 久住悠翔さん

また期間中は、給食委員会が給食に関する紙芝居やクイズなどを放送したり、給食に関する目標を決め、達成できたクラスにピースを配ってパズルを完成させる「給食パズル」に取り組んだりしました。このような活動が、食に関する意識を高めるきっかけになればと思います。



学校長のつぶやき

～プロフェッショナル～

校内を歩いているとき、6年生の教室の黒板に「プロフェッショナルとは」と書かれていました。興味をもった私は教室に入り、授業の最後までその教室で過ごしました。その授業は、中田久美さん（東京五輪女子バレーボール監督）を特集した番組を子どもたちが視聴し、自分たちなりに「プロフェッショナルとは何か」を考えるとというものでした。子どもたちは、思い思いに自分の考えをワークシートに書いていました。中にはなかなか考えがまとまらず、手が止まっている子もいましたが、全員が真剣に取り組んでいる様子が伝わってきました。そんな子どもたちに刺激された私は、担任の先生にお願いして、授業の最後に話をさせてもらいました。『校長先生はプロフェッショナルの条件として三つ考えました。一つ目は、自分の仕事に満足せず、常に向上心をもち続けること。二つ目は、自分の仕事の結果を人のせいにはしないこと。責任の取り方が分かっている、実際に自分でその責任を取っていること。そして三つめは、自分のやり方、つまり「信念」をもっていること、だと思います。』三つの中でも「信念をもつこと」はとても大切です。融通がまったく効かないのは考えものですが、たとえ頑固者と思われても、自分がよいと思うことを貫き通すこと、これがプロフェッショナルとしての姿勢ではないかと思えます。私も教育者として38年間過ごしてきました。私は、教育のプロフェッショナルになれているのでしょうか。

